

# KB-702/KB-702GM

---

Two Channel Remote Station

## 取扱説明書

## 概要

スピーカー内蔵の2チャンネルリモートステーションです。インターカムラインは、2チャンネルのうちフロントパネルのセレクトスイッチにより、1チャンネルを選択して通話します。

## 取り付け

### 固定の場合

4ケロSWボックスに取り付けます。接続は、他のステーションから配線された2芯シールドマイクケーブルを5PINターミナルブロックに接続します。プログラムは、3PINターミナルブロックに接続します。

### ポータブルの場合

別売のV-BOXを用います。接続は、V-BOX内部の5PINターミナルブロックに接続します。他のステーションとの接続は、V-BOX外部にあるXLRコネクタを用いて他のステーションと接続します。このV-BOXを用いた場合は、1チャンネルのみの通話となります。仕様変更により2CHに通話することも可能です。プログラムは、3PINターミナルブロックに接続しますがこの場合プログラムを入力するコネクタを別途に用意する必要があります。

## 操作

### トークボタン/インジケータ

トークボタンは、選択したチャンネルのマイクのオン/オフを行います。ボタンの操作はモーメンタリーとラッチの2つの動作があり、オプションスイッチで設定を変更します。

### モーメンタリー

ボタンを押している間は、マイクがオンになります。

### ラッチ

ボタンを押すことによりオン/オフの交互動作を行います。

### トークランプ

トークスイッチがオンの動作を行っている場合インジケータは点灯します。

### コールボタン/インジケータ

ボタンを押すと選択したチャンネルにコール信号が送信されます。選択したチャンネルにコール信号が送信または、受信している場合インジケータが点灯します。インジケータは、内部ジャンパーの設定変更で両方のチャンネルから受信したコール信号を点灯することができます。

### トーンアラート

コール信号を受信した場合にコールランプの見えない場所にいる人に対してブザーを鳴らして呼出します。ブザーのレベルは、内部基板に取り付けてあるTMにより調整します。スピーカースイッチがオフの場合は、ブザーは鳴りません。

#### インターカムレベルコントロール

スピーカーとヘッドセットスピーカーのレベルを調整します。トーンアラートとプログラムのレベルは、それぞれ別のトリムで調整します。

#### サイドトーン

スピーカーとヘッドセットスピーカへの自己のマイクから返るレベルが最小になるように調整します。この調整により通話の明瞭度がより向上します。また同一パーティーライン上にある子機の数量の増減により負荷が変化した場合には、再度、調整が必要となります。

#### プログラムレベルコントロール

プログラム信号のレベルを調整します。

#### スピーカーオン/オフスイッチ

スピーカーのオン/オフをコントロールします。  
スピーカースイッチがオフの場合は、ブザーは鳴りません。

#### マイク・セレクトスイッチ(K B-2 1 1 GMのみ)

パネル・マイクもしくは、ヘッドセットマイクのどちらを有効にするか選択するスイッチです。VOXは、パネルマイクが選択されているときだけ動作します。

#### チャンネルスイッチ

インターカムのチャンネルを選択します。

#### ヘッドセットコネクター

コネクターは、XLR - 4 - 3 2タイプで下記の仕様に対応しています。

マイク	1 5 0 ~ 4 0 0	ダイナミックタイプ
ヘッドフォン	5 0 ~ 2 k	ダイナミックタイプ
ワイヤリング	PIN1	マイクロフォングランド(シールド)
	PIN2	マイクロフォンホット
	PIN3	ヘッドフォングランド
	PIN4	ヘッドフォンホット

#### 注意

ノイズ発生の原因となりますのでヘッドセットケーブル側でマイクロフォングランドとヘッドフォングランドをショートした結線を行わないで下さい。

パネルマイク・コネクタ- (KB-702GM のみ)  
プラグインパネルマイク用 1/4 インチフォーンジャックタイプコネクタ-です。  
使用できるマイクの種類は、GM-9 や GM-18 のような、エレクトレットタイプのマイクです。

VOX コントロール (KB-702GM のみ)  
VOX コントロール用トリムです。マイク・セレクトスイッチで、パネルマイクを選択しているとき有効になります。  
VOX を調整するには、まずパネルマイクに向かって話し掛けて LED が赤く点灯する位置にあわせ、スピーカーから音を聞いている状態の時には、LED が緑色を表示するような位置に合わせます。

## 内部調整と接続

コールアラートトーントリム  
ブザーのレベルを調整します。

オプションスイッチ  
オプションスイッチの設定は、基板側にスイッチをセットするとオンフロントパネル側にスイッチをセットするとオフになります。デフォルトは、オフにセットされています。

### 1 シングルライン

- オフ 2チャンネルのステーションとして使用。
- オン 1チャンネルのステーションとして使用。
- 注意 2チャンネルのステーションとして使用する場合は、スイッチを必ずオフにして下さい。

### 3 ロングライン

- もしも 233m(700ft)以上の長距離の引き回しが必要な場合にオンにして下さい。
- このスイッチの設定により、サイドトーンの補正を行います。

### 3 ラッチディセーブル

- トークボタンの動作設定をします。
- オフ ラッチ
- オン モーメンタリー

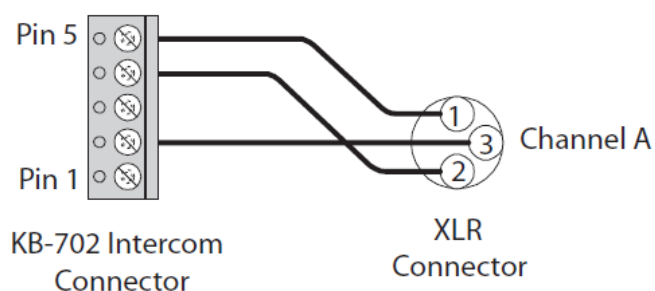
コールシグナルジャンパー  
ジャンパーに矢印が印刷されています。この向きを変えることによって設定を変更します。  
SELECTED インジケータ-またはブザーは、選択したチャンネルの CALL 信号に対して働きます。

BOTH インジケータまたはブザーは、両方のチャンネルの CALL 信号に対して働きます。

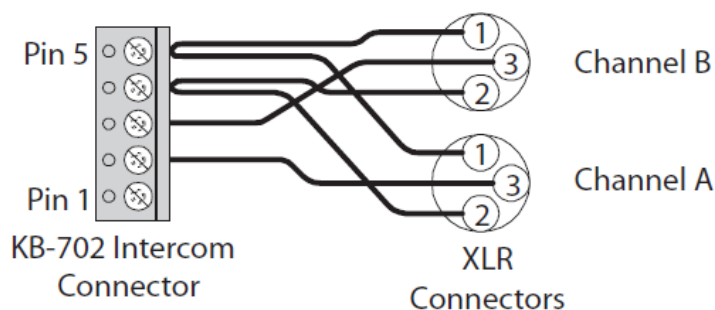
インターカムラインコネクター  
クリアーカムラインを接続します。

ワイヤリング	PIN1	NC
	PIN2	チャンネル A
	PIN3	チャンネル B
	PIN4	+ 30V DC
	PIN5	グラウンド(シールド)

### インターカムコネクタ結線



1チャンネルで使用の場合  
のオプションスイッチの1(シングルライン)をONにする必要があります。



2チャンネルで使用の場合

### プログラムコネクタ

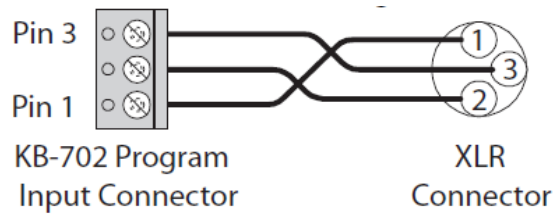
プログラムを入力するためのコネクタです。インプットレベルは、- 20 dBVです。

ワイヤリング      P I N 1    グランド(シールド)

                         P I N 2    ホット

                         P I N 3    コールド

### プログラムコネクタ結線図

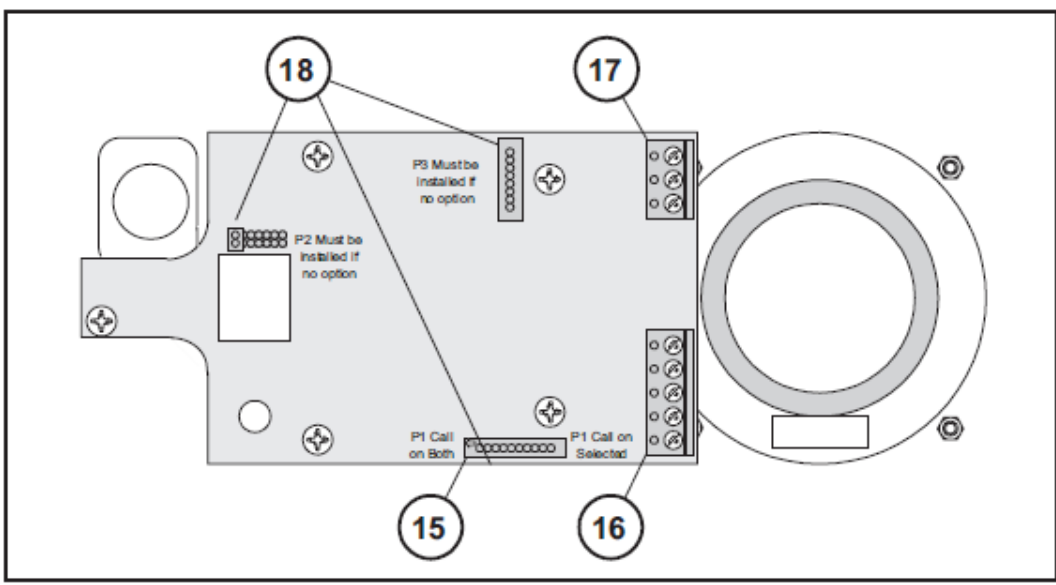
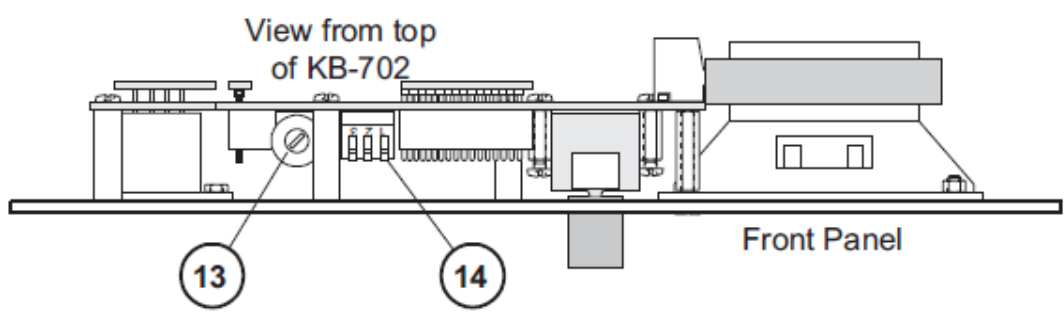
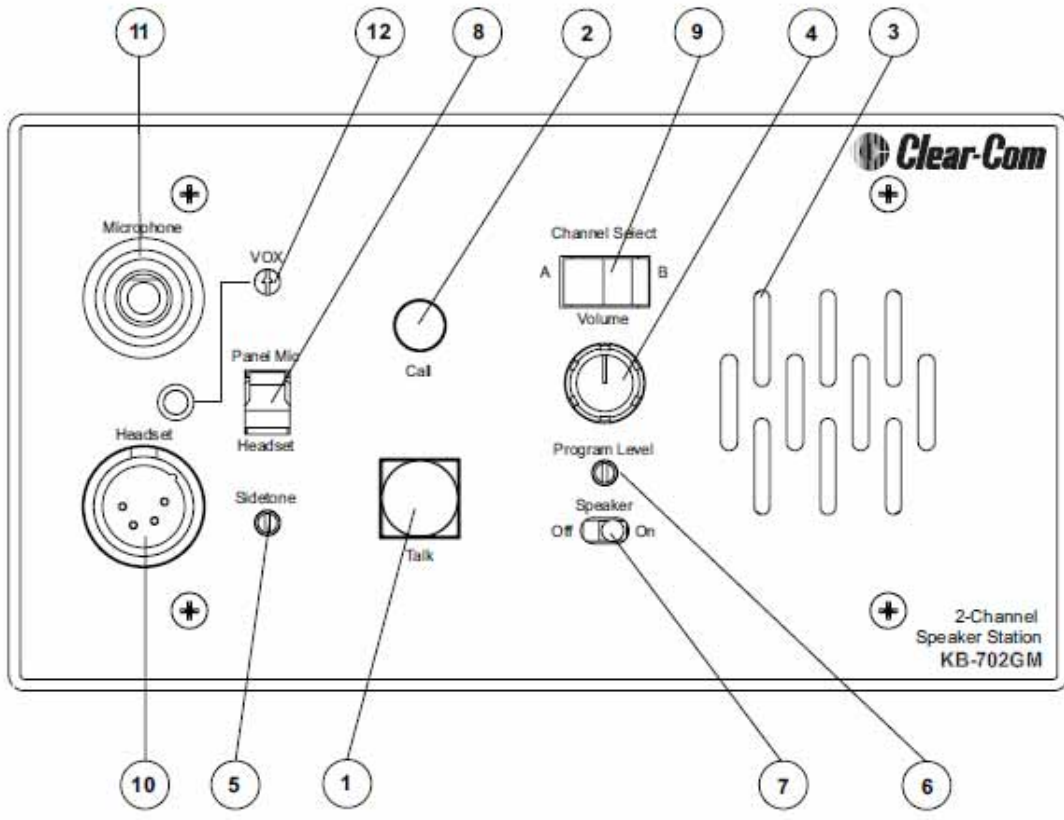


### オプションボードジャンパー

オプションモジュールを取り付けるためのジャンパーです。

E B 7 - T W              取り付けによって、TW ラインのステーションとして使用できます。

E B 7 - 4 W              取り付けによって、4W としての機器として使用できます。



# BLOCK DIAGRAM FOR THE KB-702

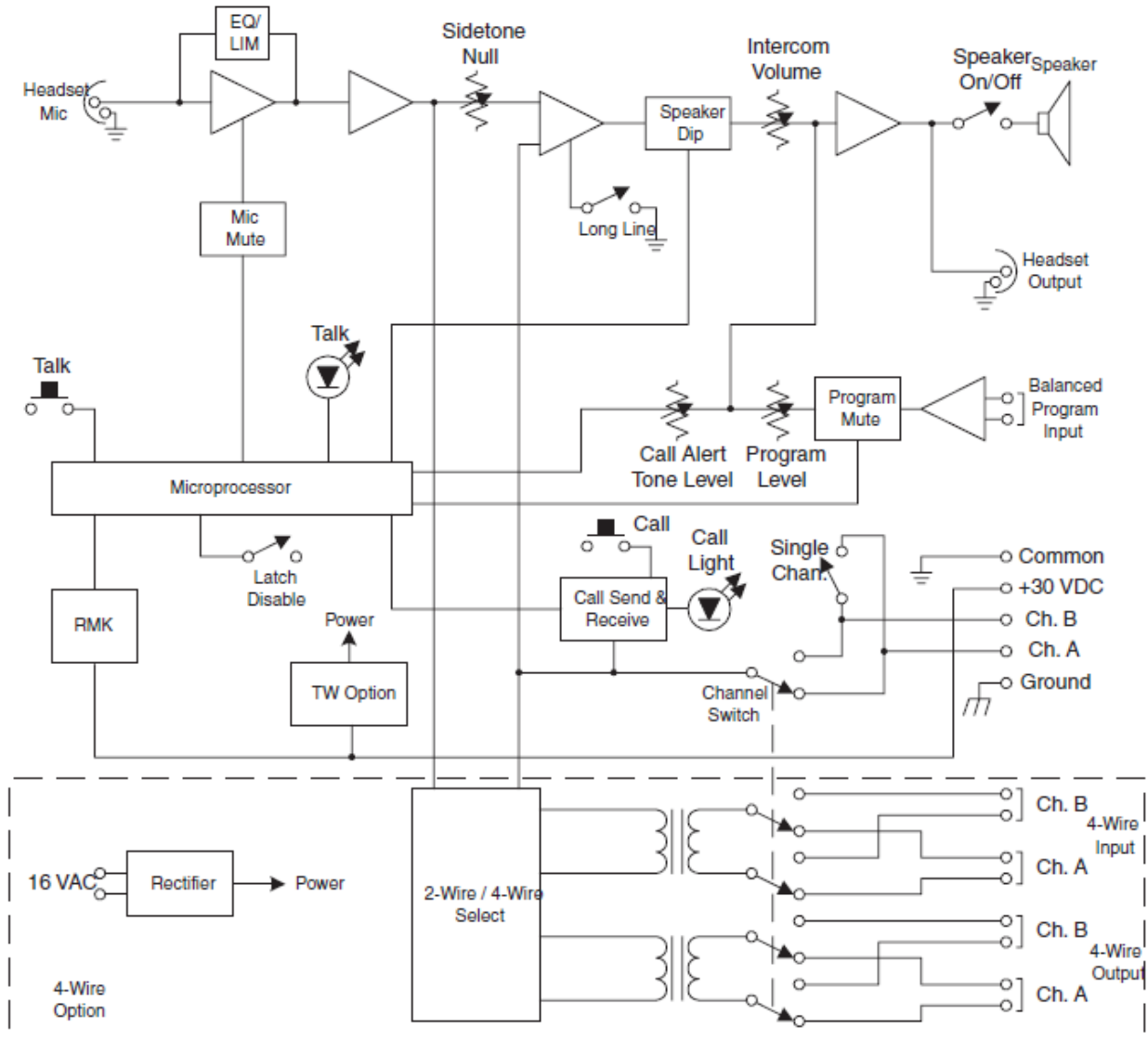


Figure 3-7: KB-702 Block Diagram



# BLOCK DIAGRAM FOR THE KB-702GM

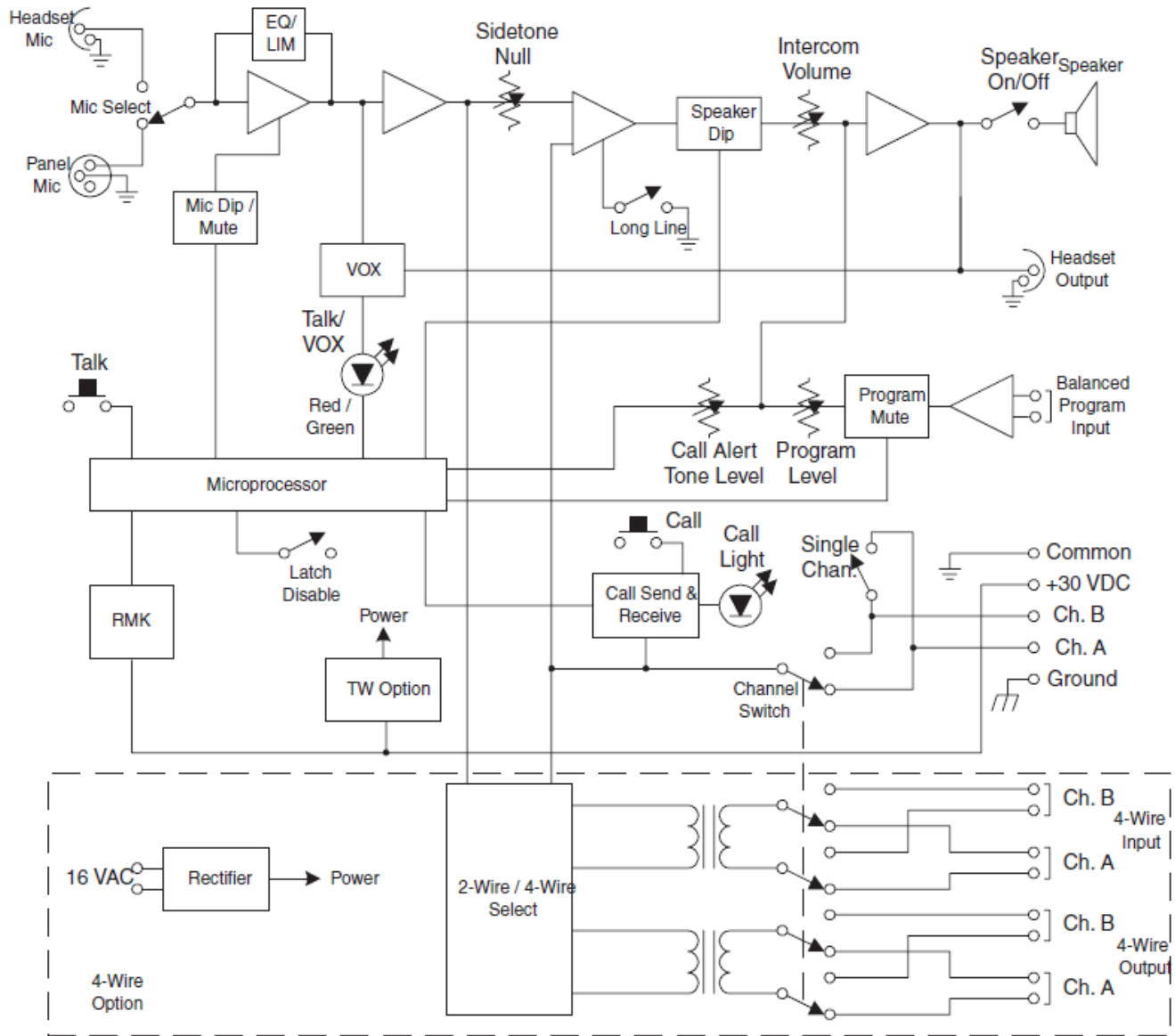


Figure 3-8: KB-702GM Block Diagram